

(件名) スポーツ・コンベンションセンターの早期建設・席数の確保を求める陳情書

(陳情の趣旨)

県なぎなた連盟では、これまでJOC全国中学生の大会、特別国民体育大会などの開催を行っていますが、県総合体育センター体育館は、老朽化が著しく狭隘であるため、大会会場としては利用できないこと、県内には大会ができる規模の体育館が不足しており、会場の確保が困難であるため、これまで選手、大会運営の関係者などには大きな負担をかけている状況です。

また、鹿児島県には、全国で唯一の国立体育大学があり、県内の高校からもなぎなた競技で進学する生徒がおり、大学には全国からのトップアスリートが集まっているため、鹿児島県にスポーツ振興の拠点整備されると、更なる発展につながるものと考えます。

スポーツ・コンベンションセンターは、なぎなた競技では、県大会をはじめ、多くの全国大会開催も可能であり、児童生徒をはじめ、全てのアスリートの憧れの場所になると考えます。

鹿児島県では、このような場所がないため、できる限り早期に整備していただくことで、多くの世代が自分の可能性に気づき、夢への挑戦を後押しすることにもつながるものと信じております。

このようなことから、次の項目を陳情します。

(陳情項目)

- ・ 多くの世代が自分の可能性に気づき、夢への挑戦を後押しするためにも、県が進めるスポーツ・コンベンションセンターはできる限り早期に整備することを求めます。
- ・ 観客席数については、競技人口が少ない競技は、サブアリーナや武道場を主の県大会の会場とすることが多いと考えます。サブアリーナ、武道場の観客席数を削減することを再考していただくことを求めます。